

ごみ処理施設建設工事 公募要領等に関する第2回質問への回答書

令和7年6月13日

尾花沢市大石田町環境衛生事業組合

1 公募要領に対する質問の内容及び回答

質問なし

2 発注仕様書に対する質問の内容及び回答

No.	頁	大項目	中項目	小項目	項目名	質問の内容	回答
2-1	5	第1章	3	(1)	エ 工事期間	解体工事では、「原則として4週8休とする。なお、土曜日、日曜日、休日、お盆、年末年始は行わない。また、工事現場での作業時間は、原則として午前8時30分から午後5時00分ごろ」と定められておりますが、本体建設工事も同様の条件でしょうか。	本組合では、6月2日付け「週休2日確保工事要領」をホームページ上で告知しましたので、本体工事、解体工事ともにこれを適用することとします。
2-2	8	第1章	3	(2)	カ 敷地周辺関連設備 (エ) 電力	2回線受電の可否調整については、東北電力ネットワーク株式会社との協議結果によるものと理解していますが、協議内容による変動リスクを過剰に見込むことは避けるべきと考えます。 そのため1回線受電となることを想定し、新設で受電して新設受変電設備内に高圧分岐回路を設け、リサイクルプラザ受電盤(既設受電箇所)へ高圧配電する計画とさせていただけないでしょうか。	新設で受電して新設受変電設備内に設置する高圧分岐盤から、既設受電個所への高圧配電の計画は妨げません。 2回線受電が認められた場合の送電については、受注後協議とします。

No.	頁	大項目	中項目	小項目	項目名	質問の内容	回答
						なお、2回線受電が認められた場合は、組合様と協議の上で方針を決定するものとします。	
2-3	8	第1章	3	(2)	カ 敷地周辺関連設備 (エ) 電力	試運転時の既設設備への電源供給について、使用電力量の上限が緩和されない場合は何らかの対策が必要になります。 現段階では具体的な対応方法を決定することが困難なため、過大な費用計上を避ける目的として、双方が追加費用を抑制する協議を行うことを前提として、上限を超える追加電力に係る費用については発注者にてご負担いただけないでしょうか。	試運転時の既存設備への電源供給が原因で契約電力を超過しないよう試運転計画を立案ください。 なお、新施設の試運転中は、784kw以下となるよう、本組合でも既設の稼働機器を最大限調整します。
2-4	11	第1章	4	(2)	イ 計量検収 (ウ)	メンテナンス車両の計量回数について、薬品（高反応消石灰、活性炭、液体キレート）並びに燃料（灯油）供給車両については、進入時・退出時の2回計量とする認識でよろしいでしょうか。	現在、メンテナンス車両の計量は実施していません。新施設においても同様の対応で考えています。
2-5	20	第2章	1	(1)	イ 設計・施工業務の概要 (ウ) マテリアルリサイクル推進施設の基本条件 a 施設規模 表2-1	カン類ラインのスチールの処理能力0.5t/hについて稼働時間2時間では1t/日となり、施設規模0.3t/日を上回ります。 スチールとアルミの比率も含めて、処理能力の考え方をご教示願います。	はじめに、能力の設定の考え方ですが、搬入量（容積）の関係から、アルミ缶がほとんどの場合を想定し、最初にアルミ部分を0.15t/hと設定しています。スチール缶部分は、アルミ缶と同じプレス能力があれば、一般的にカタログ等で提示されている処理能力との関係から0.50t/hと逆設定しています。 ただし、スチール缶とアルミ缶の搬出量（重さ）の比率は、実績から、およそスチール缶が50%、アルミ缶が50%ですので、スチール【0.075】t/h(50%)、アルミ【0.075】t/h(50%)と読み替えます。

No.	頁	大項目	中項目	小項目	項目名	質問の内容	回答
							なお、関連する p123、カ 缶類圧縮機(ウ) (a) 及び(b)も同様とします。
2-6	20	第2章	1	(1)	イ 設計・施工業務の概要 (ウ) マテリアルリサイクル推進施設の基本条件 a 施設規模 図2-2	粗大・不燃ごみラインの処理スケジュールについて、破砕機の起動による消費電力のロス軽減を目的として、破砕処理時間を記載の30分×2回から60分×1回に変更する提案としてもよろしいでしょうか。	表2-1に示す能力確保と、他処理ラインへの人員手配に影響がない場合に限り、可とします。
2-7	28	第2章	1	(2)	キ 搬入搬出車両	日別や曜日別等、搬入搬出車両の搬入出状況がわかるデータ等をご提示いただくことは可能でしょうか。(搬入量や待機状況確認のため)	令和4年度から令和6年度までの計量台数(搬入搬出車両台数)をまとめた資料を提示します。 本回答書P.10を参照ください。
2-8	36	第2章	1	(3)	キ 搬出・運搬車両条件	日別や曜日別等、搬出・運搬車両の搬入出状況がわかるデータ等をご提示いただくことは可能でしょうか。(搬入・搬出量や待機状況確認のため)	No.2-7を参照ください。
2-9	36	第2章	1	(3)	キ 搬出・運搬車両条件 表2-2 2	粗大・不燃ごみラインにおける破砕鉄、破砕アルミ、可燃残渣、不燃残渣の搬出車両に4t車と記載されていますが、想定される搬出車両の形式、寸法等の車両諸元をご教示いただけないでしょうか。	4t車は、表2-6に記載の「4tダンプ車(アオリ付き)」としてください。
2-10	36	第2章	1	(3)	キ 搬出・運搬車両条件 表2-2 2	ビン類・ペットボトルラインにおける各色カレットの搬出車両並びに、スチール缶・アルミ缶成型品の搬出車両に10t車と記載されていますが、想定される搬出車両の形式、寸法等の車両諸元をご教示いただけないでしょうか。	想定している10t車は、全長9.19m、全幅2.49m、全高3.76mで、荷台内寸は、長さ6.50m、幅2.35m、高さ1.5m、容量22m <sup>3</sup> です。

No.	頁	大項目	中項目	小項目	項目名	質問の内容	回答
2-11	36	第2章	1	(3)	キ 搬出・運搬車両条件 表2-22	マテリアルリサイクル推進施設の搬入車両は、「表2-6 最大車両寸法(エネルギー回収型廃棄物処理)」には明確な記載はありませんでしたので、想定される搬入車両の形式、寸法等の車両諸元をご教示いただけないでしょうか。	想定する搬入車両は、表2-6に記載の パッカー車(3.5t)不燃 4tダンプ車(アオリ付き) 4tフックロール車 としてください。
2-12	37	第2章	1	(3)	ク 年間稼働日数及び稼働時間	リサイクル施設に関しては土日等の休日もあるため、計画作業日に対して90日以上連続運転と理解してよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
2-13	51	第2章	1	(7)	ウ 仮設工事	仮設管理棟および仮設現場事務所に関して、上水の引き込み点は添付資料18 仮設図(案)に記載がありますが、排水および電気の取合い点をご提示頂けないでしょうか。	排水については、浄化槽を設置するか、令和7年5月9日公表の公募要領等に関する第1回質問への回答書 No. 1-74 における接続を仮設工事時に設置してください。 仮設の電気、電話等を想定した取合い点についても、添付資料18に記載しています。 なお、仮設Co柱以降については、地中埋設等を想定しています。
2-14	51	第2章	1	(7)	ウ 仮設工事	仮設管理棟に関して、仮設管理棟の使用で発生する電気・水の支払いは、組合様負担と考えてよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
2-15	64	第2章	3	(1)	ア ごみ計量機 (オ) 特記事項 c	「混載車の場合は、主たる搬入品目ごとに計量を行う。」とありますが、主たる搬入品目の区分は「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」の4種類とし、都度計量を行うと考えてよろしいでしょうか。	記載のとおりで問題ありません。
2-16	77	第2章	3	(2)	エ 助燃装置 (ウ) 燃料貯留槽	燃料貯留槽の容量を検討するにあたり、新施設での受入にて想定される燃料補給車の容量	現時点での搬入車両(タンクローリー)諸元、納期等は、以下のとおりです。

No.	頁	大項目	中項目	小項目	項目名	質問の内容	回答
					c 主要項目 (a) 容量	(積載量)等の車両諸元及び、注文から受入に係る日数をご教示いただけませんか。	全長：9.21m 全幅：2.49m 全高：3.00m 架装形式：LS16-17 タンク容量：16 kℓ 納期：注文から約1週間 6 kℓ/1回
2-17	77	第2章	3	(3)	ア 排ガス冷却室 (イ) 噴射ノズル a 形式	噴射ノズルの形式について、アンケート時の質疑では提案可との回答を受領していますが、排ガスの冷却・蒸発性能を満足することを前提に、弊社で多くの採用実績がある一流体式ノズルを提案してもよろしいでしょうか。	ご提案ください。
2-18	100	第2章	3	(9)	エ 排水処理設備 (オ) 特記事項 c	「また、有害ガスが排水処理室内に充満しない構造、設備とする。」とありますが、排水処理量が少なく装置本体のコンパクト化が見込める場合は、適切な換気を行った上で、排水処理室を設けず炉室内に配置する提案としてもよろしいでしょうか。	排水処理設備室を設けなくても効率的に処理でき、かつ酸性ガス等の対策ができる場合は、提案を可とします。 ただし、人が入ることを想定する地下水槽には、必ず適切な配慮を行ってください。
2-19	107	第2章	4	(2)	イ 受入貯留ヤード 出入口扉 (オ) 特記事項 j	特記事項 j 「車両検知に支障のないシステム(凍結防止対策、屋根の設置等)を採用する。」とありますが、特記事項 h に「車両検知による開閉制御を行わず、」と記載されています。出入口扉に対しての寒冷地対策は行いますが、車両検知によるシャッターの開閉は行わないものと考えてよろしいでしょうか。	特記事項の内容について、操作は現場手動やリモコン操作ですが、進入と退出が同時のタイミングであった場合、車両事故の発生が懸念されるため、計画によっては、車両検知(車両がその場所にいることを相手に伝えること)が必要になることを想定しています。 したがって、扉先の状況が相互で容易に確認できる、簡易な仕様の設備構成(扉自体を見える化でも代替可)をご提案ください。

No.	頁	大項目	中項目	小項目	項目名	質問の内容	回答
2-20	176	第2章	6	(3)	ア 土木工事 (ウ) 外構工事 表2-43	計画する駐車場の合計50台の内訳について、汚泥再生センター職員様の車両台数は含まれていると考えてよろしいでしょうか。 汚泥再生センター側で必要な台数(添付資料4配置図(案)では15台)があればご教示願います。	汚泥再生処理センター運転員用は、建屋の西側倉庫左右に5台分を確保しています。 したがって、50台はそれ以外の用途として本工事内で整備してください。
2-21	182	第2章	6	(5)	エ その他工事 (ケ) インターネット設備(LAN設備)及びサーバ設備	サーバの仕様、容量については十分な余裕を見込むとありますが、想定する仕様があればご教示願います。また、組合様及運転管理事業者双方で設置が必要でしょうか。	想定している仕様、容量はありませんが、工場棟、計量棟とのデータ送受信に支障がない仕様を提案ください。また、設置箇所についてはお見込みのとおりです。
2-22	—	—	—	—	添付資料3	前期工事に含まれるリサイクルプラザ近傍の造成・舗装工事について、リサイクルプラザ解体工事に影響が生じる範囲は、工事時期もしくは工事区分の範囲を調整いただけるものと考えてよろしいでしょうか。	解体側の施工内容に関わらず範囲内の外構部分の施工を原則としますが、解体計画により事前に仮設範囲が決定した場合は、重複範囲の施工時期、施工分担は協議により判断します。
2-23	—	—	—	—	添付資料4	詳細検討を行う上で、CADデータのご提供をお願いします。	別途資料を提示しますが、当該資料はあくまで本組合側の想定であるため、発注仕様書の内容を吟味し、適切な配置をご提案ください。
2-24	—	—	—	—	添付資料4	前期工事の工事計画に際し、車両動線の交差が考えられるため、汚泥再生処理センターの車両搬出入の頻度をご提示頂けないでしょうか。	搬入車両は、バキューム車14台/日です。 搬出車両は、4tフックロール車で、月、水、金の週3回汚泥搬出しています。
2-25	—	—	—	—	添付資料6	質問回答(第1回)No1-74にて、汚泥再生処理センターとの取合点をご指示頂きましたが、取合い点での配管の繋ぎこみ工事は別途工事と考えてよろしいでしょうか。	繋ぎこみ工事も本工事に含まれます。

No.	頁	大項目	中項目	小項目	項目名	質問の内容	回答
2-26	—	—	—	—	添付資料 22	詳細検討を行う上で、測量した 3D データのご提供をお願いします。	データ容量が大きいため、希望する者に対し個別に提供します。 参加資格審査結果の通知により、参加資格を有すると認められたプロポーザル参加者のうち提供を希望する者は、令和 7 年 6 月 30 日（月）17 時までに事務局に連絡ください。

### 3 優先交渉権者選定基準に対する質問の内容及び回答

質問なし

### 4 様式集に対する質問の内容及び回答

No.	様式	項目名	質問の内容	回答
4-1	第 14 号 (別紙 4)	用役（内訳） (エネルギー回収型廃棄物処理施設)	既設で取り扱っている燃料や薬剤等の仕様・荷姿・単価をご教示いただくことは可能でしょうか。	既設ごみ焼却施設の用役に関しては、次のとおりです。 <b>【燃料】</b> ①灯油 ・荷姿 10 kℓ地下タンクに 6 kℓずつローリー搬入 ・R7 年（4～7 月）単価 102 円/ℓ（税抜き）  <b>【薬剤】</b> ①消石灰（活性炭入り） ・仕様（適用規格） JIS R9001（日本産業規格）における消石灰特号 の品質に活性炭（粉状）6.0%以上を混合する。

No.	様式	項目名	質問の内容	回答
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕様（原料生石灰） 硬焼生石灰もしくは活性度 5 分間値 50～100ml（100g 法）もしくは前述と同等のもの。</li> <li>・荷姿 20 m<sup>3</sup>サイロに 6t ずつローリー搬入</li> <li>・R7 年度単価 75 円/kg（税抜き）</li> </ul> <p>②キレート剤</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仕様（主成分） ジエチルジオカルバミン酸の場合、濃度は 52%以上、pH13 以上。または、ピペラジンジチオカルバミン酸の場合、濃度は 35%以上とする。</li> <li>・仕様（重金属） 溶出防止に優れ、その効果が長期にわたって持続し、処理灰が、環境庁告示第 13 号試験の結果において鉛の溶出が 0.3mg/ℓ以下にできること。また、二硫化炭素対策品であること。</li> <li>・荷姿 1.5 m<sup>3</sup>タンクに 1 m<sup>3</sup>ずつ 3 t トラック（コンテナ式）搬入</li> <li>・R7 年度単価 319 円/kg（税抜き）</li> </ul>
4-2	第 14 号 (別紙 4)	用役（内訳） (マテリアルリサイクル推進施設)	既設で取り扱っている薬剤等の仕様・荷姿・単価をご教示いただくことは可能でしょうか。	既設リサイクルプラザにおいて、薬剤の取扱いはありません。

5 建設工事請負契約書（案）に対する質問の内容及び回答  
質問なし

6 リスク管理方針書に対する質問の内容及び回答  
質問なし

以上

